



あたたかい思いと、笑顔あふれる学校

第2期仙台市教育振興基本計画
時代の変化を受けとめ、未来を切り開いていく力
教育の振興に関する施策の大綱
H31年度「社の都の学校教育」
・豊かな心の育成
・確かな学力の育成
・健やかな体の育成
・防災対応力の育成
・多様なニーズに応じた教育の充実

学校教育目標
心豊かでたくましく しなやかに生きる子供の育成

子供の実態
教職員の願い
保護者の願い
地域の願い

育成を目指す資質・能力
～ 自他の良さや多様な考えを認め合い、高め合う力～

目指す学校の姿
◇**楽しい学校**
子供が友達や教職員・地域の方々と一緒に楽しく活動し、満足感や成就感を味わいながら成長する学校
◇**伸びる学校**
子供が自分のよさや力を発揮して活動し、仲間と共に自分の力を伸ばす学校
◇**潤いのある学校**
子供が安心して安全に、心地よく過ごせる学校

目指す教職員の姿
◇子供一人一人に寄り添い、誠意と情熱を持って工夫改善しながら教育に当たる教職員
◇意欲的に研究・研修に励み、人間性や専門性を高めるために学び続ける教職員
◇互いに尊重し、協力し合って職務に当たる教職員
◇地域や保護者とともに歩み信頼される教職員

めざす児童の姿		
共に進もう	共に磨こう	共に学ぼう
認め合い助け合う子供（徳） ◇明るく礼儀正しく行動する子供 ・進んで挨拶する子供 ・あたたかい言葉で交流する子供 ◇互いを認め、協力する子供	鍛え合い支え合う子供（体） ◇進んで運動し、心と体を鍛える子供 ◇目標に向かって最後までやり抜く子供	学び合い高め合う子供（知） ◇意欲的に学習に取り組む子供 ◇相手の話をしっかり聞き、自分で考え、自分の考えを分かりやすく表現する子供

自分づくり教育

重点目標		
◇挨拶とあたたかい言葉の交流 ◇コミュニケーション力の育成 ◇力と気持ちを合わせた主体的な活動の充実	◇基本的な生活習慣の確立 ◇健康・体力づくり ◇折れない心、回復力の育成	◇基礎基本の定着 ◇学習規律・学習習慣の確立 ◇対話的で深い学び・探求的な学習の充実

協働型学校評価重点目標

- ◇進んで挨拶ができる児童の育成
- ◇あたたかい言葉で交流する児童の育成

重点努力事項

<ul style="list-style-type: none"> ・児童会や学年・学級による「挨拶運動」「あったか言葉のプレゼント」の展開 ・「特別の教科道徳」の授業の充実（校内研究） ・体験活動の充実 ・異学年交流活動「なかよし広場」の充実 ・地域の方々との交流の充実 ・主体的に取り組む学級活動・児童会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝、早起き、朝ご飯の確立 ・縄跳びタイム・RUNランタイムの実施 ・日常運動の推奨，運動環境整備 ・安全教育，防災教育の充実 ・心と体の健康を保つ保健指導 ・喜んで食べる給食指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究，授業改善 ・生活科，総合的な学習の時間の充実 ・「吉成学習スタンダード」の取組 ・スキルタイムの計画的な実施 ・読書タイムの充実 ・家庭学習の確立 ・指導法改善の取組
--	--	---



「自他の良さや多様な考えを認め合い高め合う力の育成」を目指して

- ・特別の教科道徳を中心に，各教科での系統立てた対話や話し合い活動の充実
- ・総合的な学習の時間での地域との交流学习・ゲストティーチャーを招いての授業の充実
- ・総合的な学習の時間と各教科との関連と結びつきを考えた教科横断的な計画と指導の充実
- ・生活科での校外学習との結び付き，学習のまとめとして図工や国語との関連等について教科横断的な計画と指導の充実
- ・学級活動や道徳での防災教育・たく生き学習との関連

- ◇指導内容を選択し，組織し，授業時数を配当する。
- ◇実施中の教育課程を検討し，評価し，改善を図る。

学校経営の基本

安全で安心な学校	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい人間関係を形成する集団づくり ・命と心を守る教育の充実（いじめ防止） ・配慮を要する児童(特別支援学級在籍児童含)に対する支援の充実 ・個別のケースに応じた組織対応の充実（ケース会議） ・安全教育・防災教育の充実 ・危機管理と迅速な事故対応
地域とともに歩む学校	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域との連携（学校支援地域本部・関係諸団体とのネットワーク） ・幼保小中との連携 ・情報発信(HP・各種便り)，情報共有 ・ボランティアの協力，地域行事への参加
協働でつくる学校	<ul style="list-style-type: none"> ・共同研究，授業公開の実施 ・OJTの推進 ・新学習指導要領の実施に向けて　カリキュラムマネジメントの視点 ・子供と向き合う時間の確保と心身の健康維持（c4th活用　在校時間短縮等）